

小學作文全書

文學社編纂

九

大日本教育會館		
第 六 室		
六	五	三
冊	號	架

K120.  
1120  
9

文學社編纂

書中動植礦理化地文經濟生  
理等八遠回各專門博士或學  
士校訂，經編者導正及定

# 小學作文全書

全書六十冊

文學社刊行



小學作文全書卷之九止目次

四十題

記事文之部

勉學 游泳場 飲物 嚴島

天橋立 北京 大理石 誠實  
運河 水晶 錦帶橋 長城

瑪瑙 那智瀑布

布喜馬拉山 金剛石 鳴門

尼羅河 金

長崎 大尖塔 銀 阿蘇山 撒

哈拉沙漠 鐵

霧島山 裏海 公園 噴水器

貨幣 養雞

園中花卉 霞浦 江河 銅

鎌倉 朝鮮 鉛 瀑布 顯微鏡

小學作文全書卷之九止 目次

小學作文全書卷之九上目次終

小學作文全書卷之九上

文學社編纂

記事文

教則綱領前續

修身、讀書、日本地理、萬國地理、金石等

勉學

勉強勉學ハ國民タルモノ、義務ナリガモ、リタルトモ、能ク學バカキテ、必、富貴ノ今ニシテ、事理ニ通達スヘク、

凡、事ノ成否ハ、勉ムルト強メサルトニアリ、勉強シテ學問スレハ、道理ニ明ニシテ、事理ニ通達スヘク、勉強シテ其ノ職ヲ勵メハ、富貴榮譽、需メスシテ自來

ル榮譽ヲホテ

休憩時間ハハ遊歩ノ時限ハ概マレハ緑葉紅花ヲ觀テ倦鬱カレル倦厭上發散す健全多運動セザレハ健康ヲ害スヒズヤチヲ撰養ハ運動ヲ先ナルハナシ

一帯ノ砂洲ニ在リ日本ニ景ノ一沙線一條上與謝海

ルヘシ

### 遊歩場

學校ニハ課業休憩時間ニ運動ノ用ニ供スル遊歩場ノ設アリ、而シテ其ノ場ハ概テ綠葉紅花ヲ雜植ス、是學生ノ倦鬱ノ氣ヲ發散セシメテ、其ノ身體ヲ健康ニセシメニコトヲ欲シテナリ、

### 天橋立

天橋立ハ丹後國ニ在リ、日本ニ景ノ一タリ、一帯ノ砂洲與謝海ニ突出シ、青松白砂ト相照映シテ、其ノ景色恰畫ケルカ如シ、傍ニ岡アリ、成相山下云フ、登臨スヘキ勝地ナリ、

### 北京

東洋第一都府多ク人口衆多シテ、全世界ノ冠トシテ、城郭壯麗シテ、樓閣華麗ナレ、街衢ノ汚穢ナル汚穢ヲ往古ノ遺俗

北京ハ支那本部ノ京城ニシテ、人口衆多ナルヲ、全世界ニ冠タリ、城郭莊嚴ニシテ、樓閣華麗ナレ、街衢ノ汚穢ナルハ、頗ル厭フヘキナリ、知ラス、往古ノ遺

小學作文全書卷之九

俗カ抑滿州ノ風習カ、

大理石

結晶カ、班文アラ、  
琢磨ク、白堊散石  
大理石ニ、彫刻  
モ、建築ニ、大理石ハ  
園石燈籠橋欄等  
ニ用ル所ノ良石ナ  
リ。

俗カ抑滿州ノ風習カ、  
大理石ハ、石灰石ノ結晶ニシテ、其ノ色  
ニ赤緑等ノ數種アリ、又班文アルモノ  
アリ、琢磨其ノ功ヲ盡セハ、美麗ナル光  
澤ヲ發ス、本邦ニテハ、常陸國ノ産ヲ最  
良トス、

誠實

誠實トハ、人ノ敬禮  
ヲ受ケス、虚言ハ身ヲ

誠實トハ、心ニ偽ナキヲ云フ、凡テノ善

誤ル事ナリ、  
ヲモトテ、  
正談。

事ハ皆是ヨリ生ス、此ノ心ナキ者ハ其  
ノ言行善シト雖、真ノ善ニ非サルナ  
リ、故ニ苟モ虚偽ヲ懐カスシテ、固ク誠  
實ヲ守ルヘシ、

飲物

清水ハ、冷水キ、  
過飲ハ、病ヲ發ス、  
茶ト、咖啡ト、  
マシム、水ト、  
健全ヲ補フ。

人ノ飲料ニ供スル者、水アリ、乳アリ、  
又茶酒咖啡等アリ、其ノ至好ナルモノ  
ハ、惟水ト乳トノミナリ、茶咖啡之ニ亞久而  
シテ酒ハ最モ健康ニ害アリ、故ニ飲マ

サルヲ可トス、

### 嚴島

周回シヨウキ市杵島姫シヨウキ  
 殿廊テンリョウ壯宏シヨウキ  
 田殿テンテン廊郭リョウカク壯麗シヨウキ  
 山水サンスイ明媚メイメイ  
 風光フウカウ明媚メイメイ愛スアイスシ

嚴島ハ、安藝國ノ西南ノ海中ニ在リ、周回  
 凡七里餘、島中ニ市杵嶋姫ノ祠アリ、因テ  
 又宮島ト云フ、殿廊壯宏美麗ニシテ古  
 色ヲ帶フ、且其ノ山水明媚ナルヲ以テ、  
 日本三景ノ一トス、

### 運河

清泰セイタイ始シ貫穿クワンセンス

支那ニ大渠アリ、運河ト稱ス、北天津ヨ

浙江省シヨウセイ杭州府コウヂウ府隴フロン  
 運漕ウンソウ輜ソ通商トウカウノ驛エキ  
 容ヨウ八多ハタハ舟行フネイニテ  
 此河コノカト江河カトニ大  
 河カヲ往來オウライスルコトア  
 リ、開鑿カイサク味ミリ。

リ起リ、南シテ黃河及揚子江ヲ貫キテ、  
 浙江省ノ杭州府ニ達ス、其ノ長サ二百  
 八十餘里、隋ノ時ニ鑿テ、以テ運漕ニ便  
 セリ、今ニ至ルマテ其ノ利ニ賴ル、

### 水晶

形質カウシツ透明トウメイ美麗メイレイ粹スイ  
 形カウシツ恰チヤクモ氷コウノ如ニシ  
 此結晶コノケツシヨウ物モノハ甲斐カウハイノ  
 金峯山キムトウサンヨリ出デル最サイ  
 上品ジョウピントス、琢磨ソクサカ装カウ  
 飾シヨク諸器シヨクキ具グヲ造ゾウルヘ

水晶ハ其ノ形質六角ニシテ透明美麗  
 ナリ、其ノ色數種アリ、紫色ナルヲ紫水  
 晶ト云ヒ、綠色ナルヲ草入水晶ト云フ、  
 皆琢磨シテ種々ノ裝飾具等ヲ造ルヘ

眼鏡

シ、我カ國ニ於テハ、甲斐ノ國ノ産出殊ニ多シ、

### 錦帶橋

錦川錦帶橋城外  
奇橋六礎ヲ  
設ケテ五梁ヲ架  
ス、石ヲ壘ミテ  
一大奇工也、算盤橋

周防ノ國ノ城外ヲ流ル、水ヲ錦川ト云フ、  
架スルニ奇橋ヲ以テセリ、之ヲ錦帶橋ト  
名久、石ヲ壘ミテ六礎ヲ設ケ、木ヲ植エ  
テ五梁ヲ架ス、長サ一百二十五間、其ノ  
形ノ似タルヲ以テ、三箕盤橋ト呼ヘリ

### 長城

廣大ノ壘壁  
長城ハ支那ノ北地ニ在リ、廣大ノ壘壁

長城ハ支那ノ北地ニ在リ、廣大ノ壘壁

高サ二丈五尺厚サ一  
丈五尺、秦ノ始皇帝  
匈奴ヲ防禦スル為  
ニシテ、東ハ山海關ヨリ起リ、西ハ嘉峪  
關ニ至ル、其ノ長サ一千五百里アリ、秦  
ノ始皇帝之ヲ建築シテ、胡ヲ防ケリ、今  
二千有餘年前ノ遺物ナリ、

### 瑪瑙

緻密ニシテ無光トシ、光  
輝沈晦シ、小器印材  
ニシテ、斑文アリ、此  
品ノ産出ハ越中越後  
常陸出雲等ヲ以テ  
最多トス。

瑪瑙ハ恰モ蠟ノ如ク、形質緻密ニシテ、  
光輝沈晦セリ、白色ナルモノアリ、赤色ナ  
ルモノアリ、又斑文アルモノアリ、各其  
ノ色ニヨリテ名ヲ命ス、之ヲ琢磨シテ、

装具或ハ印材トスヘシ、

那智ノ瀑布

那智ノ瀑布、山勢峻峻、熊野社海濱、危險、直下、激聲、

那智山ハ紀伊國ニアリテ、熊野三山ノ一ナリ、山中ニ熊野社ヲ奉祀ス、又瀑布アリ、那智ノ瀑布ト云フ、直下凡八十丈餘、幅負十八間、激聲數十里ニ達ス、我カ邦第一ノ大瀑布ナリ、

喜馬拉山

喜馬拉山、山嶺連

喜馬拉山ハ印度國ニ在リ、世界第一ノ

直下、高、七、大、綿、延、巔、元、立、山、麓

高山ニシテ、其ノ巔ハ、四時白雪ヲ戴キテ、雲際ニ矗立セリ、此ノ山林、亦地勢高峻ナルヲ以テ、世ニ此ヲ山地ト稱セリ、

金剛石

純粹石炭、堅牢、比、高貴、八、烈、消滅、ニ、毒氣、放、

金剛石ハ純粹石炭ノ結晶セルモノナリ、其ノ堅牢ニシテ美麗ナルヲ他ニ其ノ比ヲ見ス、是ヲ以テ人皆之ヲ貴重スルヲ、亦他物ニ絶エタリ、英帝ノ有セ



微色ノ最良品也  
イタタキ

ルモノハ其ノ價六十五万弗ナリト云フ

### 鳴門

淡路ト僅ニ一海峡ヲ  
隔シ海峡ノ其幅最  
狹シ潮勢甚急駛  
ニ未ダ危險ナク海水  
奔激ヲ成ルル旋轉マ  
シ渦多キ往來ノ船舶  
ヲ覆没ス

鳴門ハ阿波ノ國ト淡路島ト相對セル間  
ノ海峡ニシテ廣サ僅ニ十餘町海水  
奔激旋轉シテ渦ヲ成ス其ノ聲雷ノ如  
シ古來船舶ノ此ヲ經ル者往々過テ渦  
中ニ沈没スルヲ勘ナカラス

### 尼羅河

尼羅河ハ彼有名ナル  
大河ト稱ル者多ク

尼羅河ハ亞非利加洲第一ノ大河ナリ

此河ノ近傍ニアリ  
河水泛滥ニテ河  
水近傍ノ土地ヲ浸  
潤スル地味膏腴  
トナル

源ヲ南方無人ノ境ヨリ發シ埃及國ノ  
中央ヲ貫キテ分流シ各地中海ニ注ク此  
ノ河水毎歲一定ノ漲溢アリ土地之カ  
爲ニ潤澤シテ肥沃トナル

### 金

純黄ニ光輝ニ柔  
軟ナル粘カク抽ル  
披展ス箔熔練ト  
金坑時ニ光輝最  
鮮麗

金ハ色純黄ニシテ光暉アリ質柔  
軟ニシテ粘カク具ス抽テ線トナセ  
ハ絲ヨリモ細ク披展シテ箔トナセ  
ハ紙ヨリモ薄シ金屬中最貴キ



墨是哥邦内ニハ但馬ナリ

### 阿蘇山

阿蘇山ハ肥後ノ正東ニ在ル峻險ノ噴  
火山ナリ、其ノ最モ高キ處ヲ高岳ト云  
フ、山勢左右ニ分列シテ、相隨侍セルカ  
如シ、其ノ北ニ涌蓋山アリ、其ノ東南ニ  
祖母岳アリ、九州第一ノ高山ナリ、

### 撒哈拉沙漠

廣漠四望、際涯ナキ地ヲ、沙漠ト名ク、

撒哈拉廣漠ハ西  
望際涯ナキ地ナリ

牧畜スヘカラス、又耕種スヘカラス、亞  
非利加洲ノ撒哈拉沙漠ハコレ世界中  
ノ最モ廣大ナルモノニテ、其ノ東西一千  
三百里、南北四百餘里アリト云フ、

### 鐵

鐵ニ三種アリ、鍛鐵ハ柔軟ニシテ、綱鐵  
ハ堅ク、鑄鐵ハ硬シ、皆其ノ質ニ隨テ、適  
宜ノ鑄冶鍛鍊ヲ施シ、以テ船艦鐵道軍  
器農具ヨリ、百般ノ器物ヲ製造ス、世

鐵其質堅硬ナリ、  
鍛鐵ハ鋼鐵  
鑄鐵ハ即破石鐵  
ナリ、鑄冶ハ鍛鍊

沙荒野ノ廣漠中  
ニ山石ノ丘陵アリ、  
ノウチハ、數月ノ糧食  
ヲ準備シテ此地ヲ過ス  
ヲモテトナル

噴火山ノ噴煙常ニ絶エズ、  
重嶺如山巔ノ  
噴煙常ニ絶エズ、  
ノ怒濤ノ如シ、  
ノ山勢ノ峻險ノ隨侍  
ノ涌蓋山祖母岳

甲鉄艦ヲ多ク

人ヲ利スルハ金屬中是ヲ第一トス

### 霧島山

此山ハ連山ノ上ニ特  
絶スキリテ其ノ高キハ  
山脚  
岳重疊ナク山脚  
テ高キヲ多クナク  
テ高キヲ多クナク  
韓國岳峻絶ベシ  
硫烟ヲ多ク

霧島山ハ日向國ニアル高山ニテ山脚  
大隅國ニ跨リ古ク高千穂峯ト稱セリ  
其ノ頂ニ峯ニ分ル東ヲ矛峰ト呼ビ  
西ヲ韓國岳ト唱フ其ノ峯殊ニ峻絶夕  
リ共ニ噴火山ニシテ常ニ硫煙ヲ噴ク

### 裏海

裏海ハ土耳其斯坦  
ノ西端ニ位ス廣袤  
冠絶トシテ世界第一ノ

凡世界ニ湖ト稱スル者尠トセス而シ

テ其ノ廣袤遠ク他ニ冠絶セルモノハ  
亞細亞洲中ニアル裏海ニテ其ノ長サ  
二百八十里幅八十五里アリ波濤奔蕩  
ヲ含メリ波濤奔蕩  
カミテ

シテ殆ト大洋ノ如シト云フ

### 公園

文ノアサキトクゴト  
上野淺草等ノ如キ  
公園專ニ天然ニ  
園地ヲニ属スル故  
カコク中其位置ヲ  
井上等ヲ占ト云フ  
古社大寺

公園ハ大抵大都會ニ所或ハ二三所  
アリ垣屏等ヲ以テ境界ヲ疆リ内ニ草  
木ヲ植ウ又古社大寺ノ地ヲ用井テ之ニ  
充ル者アリ總ヘテ人ノ遊樂ニ供スル

動物園ヲ設クハキチ  
吐。植物園ノ興覽ア  
リクニシテ、縦覽キルニ  
アフリカ地方ニ於テハ  
多ク此器ヲ使用ス噴  
出ス散乱ス灌キ  
潤スス美觀メ金  
ヲ鏢スアンノ甚熱ル  
ニ時。頓ニ一條ノ噴  
水ヲ解テ涼風ヲ送ル  
ナスカセテオケル

貨幣ニ數種アリ、金貨ハ二十圓十圓  
銀貨ハ一圓五錢五錢ノ五種ナリ、銅貨ハ二  
錢一錢五厘一厘ノ四種アリ、十厘ヲ以  
テ一錢ニ換ヘ、百錢ヲ以テ一圓ニ換ス、

所ニシテ東京ノ上野淺草等ノ如キ即是ナリ、  
噴水器

噴水器、多クハ庭園又公園等ニ設ク、一條  
ノ水ヲ噴出シテ四方ニ散飛セシム、或ハ  
池ニ灌キ、或ハ樹木ヲ潤ス、頗美觀ナ  
リ、金ヲ鏢ス如キ甚熱ト雖、其ノ近傍  
ニ至レハ、頓ニ冷氣ヲ覺ユ、

貨幣

貨幣ニ數種アリ、金貨ハ二十圓十圓

五圓二圓一圓ノ五種、銀貨ハ一圓半圓  
二十錢十錢五錢ノ五種ナリ、銅貨ハ二  
錢一錢五厘一厘ノ四種アリ、十厘ヲ以  
テ一錢ニ換ヘ、百錢ヲ以テ一圓ニ換ス、

課題

養生 園中ノ花卉 霞浦 江河 銅  
鎌倉 朝鮮 鉛 瀑布 顯微鏡

菱潭書

小學作文全書卷之九上終

小學作文全書卷之九下目次

四十題

日用書類之部 附 諸券公用文

- 看板の扱方を教む文
- 病氣を入院せむ人を召する文
- 御書を書換を申送る文
- 急用して不糸を教む文
- 賞賜を賀する文
- 出張する人に送る文
- 為換金手紙を直に預る文
- 送金借位之文
- 金子借用の求を断る文
- 款才新法同見を談する文
- 寒中見舞小回りを誘ふ文
- 衣服仕立を頼まれ小答ふる文
- 田植見物小人を招く文
- 為換金を其儀預る文
- 書中不審を問ふ文
- 再登地立法の文
- 款柄小人を招く文
- 見本品を尋る

書文 ○ 罪人及友人を招請する文 ○ 萬歳を招請する文 ○ 學級  
 集りし人小物を遺りて文 ○ 病氣全快を告られし返り ○  
 雇人届 ○ 菓子届 ○ 縁組届 ○ 煙草營業許可附與紙 ○ 牛  
 馬賣買免許許可紙 ○ 賣品預り証 ○ 地券預り証 ○ 貯  
 式讓紙 ○ 天長骨を祝する文 ○ 同返り ○ 遊山を中絶されし  
 小答書文 ○ 喜ぶお返しを促す文 ○ 同返り ○ 梅雨中友人に  
 送す文 ○ 同返り ○ 孫蒸をゆしを友人に吹聴する文 ○ 頼  
 まれたる徳物物を贈る文 ○ 寓舎不修ち交くる人を催促  
 する文

小學作文全書巻之九下目次終

小學作文全書巻之九下

文學社編纂

日用書類 〔教則綱領前續〕

第一

○ 看板の徳免方を教む文

小家好抽宅上（シヤカ） 撤  
 店上這回上商業行  
 商用上這回上商業行

小家今回店物商業致し度就  
 店上這回上商業行

小學作文全書巻之九下

繁多上難形恐入恐縮認揮筆上揮毫

貴兄盟兄病院入療途中が容体別段は障礙上

難形通り至急は徳め致す及筆  
日までに出来成候程致す也

○病室より入院せむ人を尋る文

貴兄より病院へ入療成され  
趣本の容体如何途中が彼  
是迄動き成されしは所障礙  
小成候一才向也

○証書と書換を中送る文

借用違置申越  
用途期限借用  
借恩借給申越  
通牒承知承  
認申越是旁脚  
旁給出車給来  
車給書換

小生宛陌生生邊  
急用は急務給出  
兼出車上毎度毎々  
上手教書面倒  
取計取成中扱

借用違置申越今園本自給取  
為又向之自借借用成され由  
申越成候申致し候能事是旁  
あつた出車証書を書換成候也  
○急用より不承を致す文

本日は書出候積りし急務  
致置候事遠小至急に用向出来  
何にも出る候一も毎度手教書







休暇ニ休業シ某  
先生宅ニ往ル其  
夫子陰責君ヲ雅  
君陰申同行シ  
同伴陰誘引ス  
夜回香ニ申回上

縮緬備縮棉衣  
仕立上裁縫上誂  
物注文差操申間  
合申都合

追々逐次陰植  
付挿秧ヲ連日  
販敷賑々敷光  
来村申尊来上田  
舎鄙村ヲ蕎麦献  
上申笑覽

這回也這般為替  
証書名宛好珍申

明後日日曜付申中ニ是等  
て何先生宅ニ来り度貴君は同行  
如何ニハ同意ニ申シ是より清徳  
引申上申る是は回答納也

○衣服仕立を頼まれし書ふる文

は冒縮緬綿入を重束る裁り仕  
立上(ま)板付裁されし書法より  
能物多分若支た(ま)字操如何よ

此間に合せ申へくは己上

○田植見物に人を招く文

追々四方植付の時多々成毎賑  
々しくなる申人物多のり清光来  
下され度回舎のり故何もこれか(ま)  
手他の若も来り申也

○為換金を其俵預り文

這回總金何圓別紙の替付申道





よる古光東待と也

○蕎麦を振るふ文

郷里より蕎麦粉澤山系来付  
我小手製お強しよ又存お加減  
好出来お付下白熱一度幸ひ  
愚弟も帰るに少分今夕お出遅  
合せ古貴忙待と也

○世話小成りし小物を達す文

先の日に来非常小煩勞あり  
古招き中よして粗飯しても量上  
致度と存る又手狭し何分  
以届らぬお心計小粗肴散尾  
直説小八月故骨

○病者全快を告ぐ返り

貴夫過り来古病者よとせらせ  
られお又名醫の治療功を奏し

郷里より郷園上蕎  
麦粉澤山到来  
手製お相驗實  
驗存外お案外  
上愚弟も合芽上  
古貴臨す

曩日已来以降  
非常お意外上  
煩勞小煩悶上  
粗飯お非酒  
手狭狭陋お心計  
寸志迄お貴覽  
然るお笑覽上

仁辨雅辨上臥  
褥對伏枕名  
盤但手快

愈<sup>ユ</sup>快<sup>ク</sup>方<sup>ハ</sup>冷<sup>シ</sup>恐<sup>ク</sup>  
喜<sup>キ</sup>躍<sup>ダク</sup>上<sup>ノ</sup>時<sup>ト</sup>候<sup>キ</sup>  
不<sup>フ</sup>順<sup>ジュン</sup>時<sup>ト</sup>季<sup>ト</sup>酷<sup>ク</sup>  
暑<sup>シュ</sup>時<sup>ト</sup>氣<sup>キ</sup>嚴<sup>エン</sup>寒<sup>カン</sup>  
証<sup>シ</sup>券<sup>ケン</sup>印<sup>イン</sup>稅<sup>ゼイ</sup>略<sup>リョク</sup>則<sup>スレバ</sup>  
ノ<sup>ノ</sup>續<sup>ツク</sup>

前條ニ掲クル  
所ノ証書帳簿  
ト効用ヲ同フ  
スルモノハ其  
名稱ニ拘ハラ  
ズ稅率ニ照シ

相當ノ印紙ヲ  
貼用スヘシ  
一印紙ハ証書  
ノ差出人又ハ  
振簿主ニ於テ  
授受使用ノ前  
ニ貼用シ記名  
ノ下ニ押捺ス  
ル印ヲ以テ紙  
面ト印紙ノ彩  
紋トニカテテ

愈不快方冷恐  
喜躍上時候  
不順時季酷  
暑時氣嚴寒  
証券印稅略則  
ノ續  
前條ニ掲クル  
所ノ証書帳簿  
ト効用ヲ同フ  
スルモノハ其  
名稱ニ拘ハラ  
ズ稅率ニ照シ

### 諸券公用文

#### ○雇人清届

何郡何村何番地  
族籍何<sup>ニ</sup>准雇  
原籍何<sup>ニ</sup>准何<sup>ニ</sup>男  
何<sup>ニ</sup>准何<sup>ニ</sup>男

年月日原籍より雇入

何<sup>ニ</sup>准  
年月日生

右前記之者雇入の旨此紙清届申す  
之也

右雇主  
何<sup>ニ</sup>准  
印

何郡長又何村戸長何<sup>ニ</sup>准殿  
以下同宛名ノ届  
書ハ記名ヲ異ス

#### ○養子清届

何郡何村何番地  
何<sup>ニ</sup>准何<sup>ニ</sup>男

何<sup>ニ</sup>准  
年月日生

小學作文書卷之九下

消印スヘシ  
 一印紙ヲ貼用  
 スヘキ証書帳  
 簿ニシテ前ノ  
 手續ニ備ヒ印  
 紙ヲ貼用セサ  
 ル者ハ民事裁  
 判上之ヲ受理  
 セス但シ處罰  
 ヲ受クル後貼  
 用シタルモノ

ハ此限ニアリ  
 一印紙及ヒ手  
 形用紙ハ官ノ  
 許可ヲ得タル  
 賣捌所ニ非サ  
 レハ之ヲ賣捌  
 クコトヲ得シ  
 一印紙貼用ス  
 ハキ帳簿仕切  
 書送り状ハ主

右ノ殺何郡何村何番地何ニ誰方  
 嗣子養子ニ若造トシテ戸籍面書記載  
 替案下サレ度法原正屬中ト云也

年月日

右父兄族籍

何ニ誰 (印)

何ニ誰 (印)

縁組法届 エンゲキ  
入夫或ハ督養子届 等此例ニヨル

何郡何村何番地

族籍職業トシテ或ハ長次男

妻ノ姓名手続  
 同生國郡之名  
 初婚再婚

何ニ誰  
初婚 或再婚 年月日生

右頭書姓名ニ者何縣何郡何村何番  
 地族籍何ニ誰或女ニシテ何方親戚協縁之  
 上抄者妻ニ或ハ條法原正屬中ト云也

年月日

何ニ誰 (印)

何ニ誰 (印)

何ニ誰 (印)

烟草營業継扎正附與影

タバコ 正イゲフ カンサツ  
 親戚 族籍 何ニ誰 (印)



何郡何町何番地  
族籍

何之誰

右之私儀之收煙草營業仕度旨

左之鑑札添附共成下サレ度仕段

形上者也

右

何之誰 (印)

年月日

一 煙草卸賣 製造營業鑑札 査枚

一 仕入鑑札 査枚

一 出賣鑑札 査枚

一 印紙買入鑑札 査枚

何郡又の町長何之誰以下同宛名ノ類書ハ 記名ヲ畧ス

○牛馬賣買ギウババ イ免許メシキヨ鑑札添願

一 今般牛賣買營業仕度之定制之

通り納税仕可ク之方鑑札添下ケ渡

本家之族法添形上者也

年月日  
何郡何町何番地  
族籍

任官之ヲ検査

スルヲアル可

一 左ニ掲ケ

所ノ証書帳簿

ハ印紙ヲ貼用

スルヲ要ヒス

一 官廳ヨリ差

出ス証書帳簿

一 官吏準官吏

若クハ布告布

達又ハ達ヲ以

テ定メタル議

貞若シクハ公

立學校病院ニ

從事スルモノ

各其職務ニ依

テ用ル証書

一 國庫金取扱

所又ハ為替方

ヨリ官廳ニ差

出ス預リ金ニ

對スル抵當証書

一國庫金取扱

所又ハ為替方

ヨリ官廳ニ對

シタル諸上納

金ノ預リ証書

帳簿

一金員記載ア

ル官廳ヨリノ

命令書ニ對シ

國庫金取扱所

又ハ為替方ヨ

リ差出ス請書

一諸上納金ニ

付國庫金取扱

所又ハ為替方

ヨリ納入ハ差

出ス請取証書

一罹災救助金

献金寄附金ニ

関シ人民ヨリ

何ニ誰印

○賣品預リ控

一何品

何個

右賣品代價金何程正ニ交中ハ依

ハ即刻引取ラル可キニ交馬人長長交

作付尚分取預リ申入官法部令

次第何町ニモ此証書ト引替ハ液

申可クハ後日、為其証件ノ如クニ

也

年月日

何ニ誰印

何ニ誰殿

以下記名

○地券預リ之控

何府何區何町何番地

何間何口何行

何坪何百坪

右地所這回質地、受取金何百圓

用達ハ付前書券状ハ期月中預リ

申入其期ニ至リ右金圓返辦成

小學作文全書卷之七下

官廳ニ差出ス  
証書  
一 第一類ノ帳  
簿ハ初丁ハ附  
込見積金高及  
使用期限紙数  
ヲ記載スヘシ  
一 証書帳簿ニ  
稅率ノ異ナル  
モノヲ雜記ス  
ルトイハ各相

當ノ印紙ヲ貼  
用スヘシ  
一 第二類ノ帳  
簿見積金高未  
タ満タサルカ  
使用期限未ダ  
盡キサルニ紙  
數盡キタル片  
ハ更ニ紙數ヲ  
増シ其理由及  
増加シタル紙

弟を相違ナク古戻ニ申ス可ク此地券  
預り證仍テ件ノ如シ

年月  
何縣何郡何村何番地  
族籍  
何之誰 (印)

○跡式讓渡

一 我等跡式并ニ家屋敷或ハ家宅家財室  
子孫ラス嫡子或ハ嫡女誰ハ讓與シ又確實  
也尤次男或ハ次女誰ハ何村田地何反何  
前歩別邸其地券其係別全幾何

遺シ中ヘク是斯ノ如ク取極メ置ル上名  
少モ違背之アル旨及以之ニ依テ後日之  
為親類證印讓狀件之如クニ及也

年月日 父  
親戚 族籍 何之誰 (印)  
族籍 何之誰 (印)  
何之誰 (印)

課題

天朝帝を賀する文○同返り○遊山を中  
越されし小答ふる文○喜ぶ及歩を促す

數ヲ記載スヘ

レ

一前條ノ帳簿

餘白アリテ尚

使用セントス

ル片ハ相當ノ

印紙ヲ貼用ス

ヘレ

文○同返事○梅多巾友人小遣す文○  
同返事○孫器をゆゝを友人小遣す  
る文○頼まれたる母め物を贈る文○富  
舎に待ち交くる人を催促する文

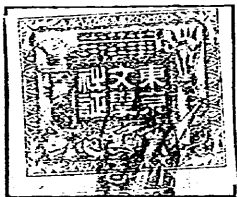
菱原堂



小學作文全書卷之九下終

明治十六年四月十日 版權免許  
同 十六年十二月二十五日 校正御届  
同 二十年六月二十八日 再版御届

定價拾貳錢



編纂無  
出版

文學社

東京日本橋區本町  
四丁目十六番地

